

安芸中・高校

同窓会だより

第31号
同窓会事務局発行
H25. 2. 26



同窓会会長挨拶

同窓会会長 山崎 勲

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は本会の振興のためにご理解ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

さて、平成二十四年度の同窓会の歩みを振り返ってみますと、四月のすぎもと眼科院長杉本圭弘様（高校七期生）による開校記念講演会、七月の同窓会総会並びに昭和三十一年メルボルンオリンピック二〇〇mバタフライ銀メダリストの石本隆様（高校四期生）の記念講演には多くの同窓生の参加も頂き実りある会となりました。また、吹奏楽部定期演奏会やまつかぜ祭、文化講演会（宇宙飛行士山崎直子氏）にも多数ご参加いただき、交流を深めることができました。さらに各学年別同窓会も数多く開催、活発に活動しております。本年も同窓会活動にご支援を賜りますようお願いよろしくお願いたします。

さて、卒業生の皆さん県立安芸中学校・高等学校での三年間（六年間）で培った絆は何にも優る、かけがえのない日々であったことと思います。ともに学び、スポーツを楽しむ、語り合った友達は一生の宝物で

す。その同窓生同士のつながりがこれからも続き、数年後、数十年後も皆さんのクラスや学年の同窓会が開かれることでしょう。そういう同期生の同窓会とともに皆さん

は、旧制中学校や女学校の卒業生から皆さん方まで続く母校県立安芸中学・高等学校の同窓生として先輩たちと同じ仲間に入ることになります。本校の卒業生は二万三千余名います。そして、先輩方はそれぞれ全国各地で懸命に努力され活躍されていますが、青春時代を安芸中・高校で過ごした方々が年齢を超えて各地で集まり、中・高校時代を懐かしみ、ともに語り、助け合い、つながりをもつため、安芸中・高等学校同窓会を作っています。人生の中で中・高校時代の三年間（六年間）はほんのわずかの通過点にしすぎませんが、大人になって振り返ってみますと、まさに自分自身の人間形成の基礎を作る大切な時期ではなかったか、と思わずにはいられません。その中、高校時代を同じ学舎で過ごした母校の先輩、後輩というだけで親しみが生じ、心が通じるものです。県外に出られる方はぜひ、東京・近畿・東海の各支部総会に出席してい

平成24年度 安芸中・高等学校同窓会総会開催される



本部総会

ただきたいと思えます。地元に残られる方は高知と安芸の総会にも出席してください。先輩方は皆さんに何かしてあげたいと思っておりますので、何でも遠慮せず相談してください。きつとよいアドバイスがいた

だけると思えます。最後に、卒業しても母校のことを忘れず、何年か経って後輩のために役立てるように頑張ってください。皆さんの明日への飛躍を大いに期待しております。

平成二十四年 七月二十八日 (土) 安芸市ホテルタマイにおいて、本年度同窓会総会が開催されました。

総会に先立ち、ロンドンオリンピック開幕直前にふさわしい、メルボルンオリンピック水泳銀メダリスト石本

隆氏（高校第五回昭和二十九年卒）を講師にお招きし、「潜在能力」と題した講演が行われました。石本氏による思い出話に、江の川、太平洋等、青い空、海、川、眩しい太陽と爽やかな風に包まれた当時の安芸の風景と心のつながりに思いを馳せながら、百名近い同窓生は時を忘れて聞き入りました。

総会では、平成二十三年度会務報告、経常会計並びに特別会計決算報告が事務局から行われました。続いて、平成二十四年度事業計画、経常会計予算並びに特別会計予算等の審議が行われました。

また、安芸高南舎の老朽化に伴う、建て替え工事計画（平成二十五年度着工予定）について事務局より報告が行われ、築四十年以上経過し、耐震性に問題のある「同窓会記念会館」を取り壊し、新築なる南校舎内への機能を

移転することの報告がありました。山崎同窓会長からは、平成二十四年二月二十三日に臨時常任理事会、三月六日には臨時理事会をそれぞれ招集し、その中で、同窓会館は老朽化が目立ち、空調設備は古く、その維持・使用コストも高いこと、このまま残すとしても耐震補強が必要となり、経済的負担が大きいこと等を勘案し、新校舎内への移転が妥当との結論に至った審議内容が報告されました。

また、今後は、県教育委員会と学校との調整に任せる方向で一致したこと、従来あった和室スペースはこれまでの活用実績からも必要ないこと、資料室は展示スペースとして整備し、展示や資料の保管については、同窓会が整理等の協力をする事、日本庭園は残す方向で設計を進めることを報告しました。

本会には、東京同窓会の柏戸正英会長、近畿支部同窓会の上水忠義支部長に出席をいただき、懇親の席では旧制安芸中、安芸高等女学校、安芸高校歌を参加者それぞれが合唱し同窓の旧交を温めました。百名近い同窓生が集った平成二十四年度同窓会総会は、こうして盛会の内に終了しました。

おわりに、記念講演講師として事務局からの依頼を快諾いただき、同窓生に清々しい思い出と母校愛を想起させていただいた石本隆氏と、「石本が帰ってくる……」と、多数の出席を数え本会を盛り上げていただいた和田精郎氏

をはじめとする第五回同窓生の皆様には本誌よりも心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

総会日程

平成二十四年七月二十八日(土)

午後二時三十分～ 安芸市 ホテルタマイ

講演 演題 「潜在能力」

講師 石本 隆氏

(高校第五回昭和二十九年卒)

総会

1 開会挨拶

2 会長挨拶

3 学校長挨拶

4 各支部役員挨拶

5 議案

第一号議案 平成23年度会務報告の件

第二号議案 平成23年度経常会計並びに特別会計決算報告の件

第三号議案 監査報告の件

第四号議案 平成24年度事業計画(案)の件

第五号議案 平成24年度経常会計予算(案)並びに特別会計予算(案)の件

第六号議案 その他(報告事項)

同窓会記念会館について

5 閉会挨拶

懇親会

総会終了後



柏戸正英東京同窓会会長



水上近畿支部長

同窓会総会記念講演

演題 「潜在能力」

講師 メルボルンオリンピック

水泳 銀メダリスト

石本 隆氏

(高校第五期生・昭和二十九年卒業)

演題要旨



本日は皆さんにお会いできることを大変楽しみに帰って参りました。私が安芸に住んでいたのは十八年間という短い間でしたが、その十八年間は皆さんの素晴らしい友人に恵まれた素晴らしい思い出ばかりです。そして、今回こういった機会をいただけるのは大変嬉しいことです。今日は皆さんにお話をするということで非常に緊張しています。私の子供時代を知っている方もたくさんいらっしゃいますので、私がこれまでに体験したことをありのままお話ししたいと思います。

私の子ども時代は決して良いものではない、というのが友人達の意見です。この場で懺悔をしてお許しをいただかなければならないと、そういう話になると思いますが、ガキ大将で、皆さんに謝らなければならぬこともたくさんあるのですが、そんな私が安芸市の名誉市民賞を頂いた時の感想を申し上げます。安芸には既に家もなく、残っているのは皆さんの友情だけで、寂しく感じていたのですが、安芸市の人間であると市で認めていただいたことは、オリンピックや他の大会でメダルをもらったこと以上に、生涯の喜びです。

小学生向けの副読本で安芸の偉人が紹介されるということで、素晴らしい方々と一緒に私も紹介していただき、先日その本が送られてきたのですが、当時の隆少年を知る友人の言葉として、「彼は非常にガキ大将で、あんないたずらをする奴はいなかった。彼が通った後には猫一匹残っていません。猫一匹残った」というコメントがありました。今の子供たちには理解できないかもしれませんが、昔はメジロやひよこなど、生き物を飼うことに育てる喜びを持っていた子が多く、ひよこや取ってきたメジロを交換したりしていました。当時、その飼っていたひよこが猫にやられることもありましたが、以て、猫が私の天敵になりました。自分の飼っていたヒヨコを守るために猫を退治するような、非常に残酷な面もあり、決して素晴らしい少年ではありませんでした。

水泳の話をしていただきますと、私が水泳を覚えたのは江の川です。六月あたりから川に入り、当時は水着などなかったのでも、赤フンドシをつけて、まだ泳げないうちからほとんど毎日、何度も溺れながら練習をしていました。夏になると江の川に浸りますか、一日に一度は水に浸らなければ気が済まず、カバンを投げ出して泳いでいるなどという事は思っています。けれど周囲の友達がそのような感じでしたので、そんな環境の中で、仲間と一緒に、練習をするというよりは魚を獲ったり、「俺が早い」「いや、俺が早い」と、遊びの

中で競争しながら泳ぐことを覚えました。江の川近くの農業水路は少しく温度が高く、体が冷えたときにはそこで体を温めていたのですが、その水路にはたくさんのヒルがおり、そのヒルに血を吸われてしまいました。夜寝ようとした時でもまだ、血を吸った大量のヒルがぶら下がっていることがしょっちゅうありました。そしてそのヒルを自分の体重でつぶして、布団が血だらけになるなどというような野蛮な生活をおくっておりました。

大雨で増水した江の水は、その水で田畑が冠水するほどだったのですが、段々泳ぎが達者になってくると、その本流が濁流になってくる時に、わざわざ泳ぎに行くというのを繰り返しました。また、台風が来たときには決まった仲間たちと一緒に海に入って泳いだりもしていました。この間帰ってきた時に、当時一緒に泳いでいた二つ上の先輩のNさんと「よくあの時、誰も死ななかつたなあ」という話をしたことでした。今思うと、本当に悪童だったのだなと思います。

中学校に入ってから、兄が野球をしていたので私も最初は野球部に入りましたが、結局は一年もやらずに、水泳をしているグループがありまして、その先生から「リレーのメンバーが足りないが、お前は水泳が達者らしいから試合に出てくれ」と頭から決められたような感じで、中学校の県大会に出た。リレーでは上位に入り、個人の競技でも上位に入ったんですが、それが水泳を始めるきっかけとなりました。今思えば、あの時の「お前、リレーのメンバーに入れ」という先生の一言がなければ水泳の選手にならなかったと思います。ですからあの言葉が自分の人生を左右する結果になったと思います。人というのは、色々な出会いがあり、その出会いによってその後の人生が大きく変わることがありますね。私はそういう経験を何度もしてきました。

ですから、人との出会いを大切にしたいし、とても大事なことでと考えています。

私が自由形を始めたのも(先生の)一言があったからでした。それがきっかけで高校では水泳部に入り、記憶が正しければ高校一年生の時に、全日本の大会で三位に入ることができました。私は色々な上級生のアドバイスを素直に聞く方でした。好奇心が強かったことも、強くなる要素の一つだと思っています。高校時代には色々な方にお世話になりました。

卒業後は日本大学に進学しました。当時私の家は貧しく、大学に進学することも難しい状況だったにも関わらず、特待生という恵まれた待遇で進むことができました。勉強は決して得意ではなかったのですが、日本大学に入るといのは「水泳の大学に入るんだ」というイメージが強く、またそういう教育もされましたので、今も「大学を出た」というよりは「水泳大学を出たんだ」という気持ちがあります。

大学に入った当時は自由形をしていたのですが、その時のレベルは「もしかしたら、オリンピックの八百メートルリレーのメンバーに選ばれるかもしれない」という思いがあったものの、やはり非常に厳しい状況でした。そのような時に、遊びでバタフライを泳いでいるところをたまたま目にした先輩に、「石本おまえ、そこそ良い泳ぎをしている。」と言われ、実際に百メートル泳いで計ってみたのですが、泳いだ途端に周りの人たちが「時計が間違っている」と驚いているのが目に入りました。よくわからないまま一時間後に再びタイムウォッチ三個を使ってみると、「間違いない、これは日本記録だ」と。当時の日本記録一分八秒いくつだったのですが、それを超える一分七十一秒で泳いでいたことが分かり、すぐに監督や新聞社に伝わり、「一夜にして彗星のごとく現れた」と大騒ぎされたことに私もびっくりしたことでした。それまでは、その他大勢の選手だった

わけですよ。たとえれば、頂点を下から押し上げる立場から、今度は一気に頂点に行きたわけだから、三日間くらいはまるで夢を見ていたような不思議な気持ちでした。やがて、これは現実なのだと思え、できたことを覚えていきます。

今思うと、先輩が、私が遊びでバタフライを泳いでいるのを見て目をかけてくれたければ、「バタフライの石本」というのは存在しなかったかも知れない。私のバタフライの様子を見つけてくれたといいますが、発掘してくれた先輩は、私の人生を変えてくれた存在です。生涯の恩人だと心に決めているわけですよ。本当に人間というのは人との出会いで、いい方にも、時には悪い方にも左右されるのだなと体験してきました。以来、競技の方では、優勝候補と持ち上げられるものから、やはり頂点近くになると、追われる立場ということで、人が気になりだしました。それと同時に人より少しでも多く練習をしようという気持ちが強くなり、それから夜中に目を覚まして夜のプールで一人、自分が納得するまで泳ぐということを繰り返してました。ベッドに戻り、「やることをやった。これでいいんだ。」と自分で納得すると、やっと安心して眠ることができました。そうでないと悶々として眠れず、ストレスがたまり、それが一つのダメージになるんですね。納得するまでやるというのは精神面でも大切なことなのだと思います。

私は好奇心が強く、記録では私より下でも、その人の泳ぎを見て「いいな」と思ったフォームは積極的に取り入れてやってみたことでした。

日米対抗という大きな大会に選手として選ばれまして、たまたま大接戦の末に〇・一秒差で私が優勝したんですが、その時に勝ったのがオリンピックで泳いだウイリアム・ヨーリックという選手で、彼とは高知での大会を含め、七回ほど対戦したのであり、一度も負けなかったのにオリ

ンピックで負けてしまったのです。アメリカのウイリス選手は百メートルは非常に速いの、二百メートルでは体力が持たなくて泳げないという選手だったのですが、彼のイルカのような泳ぎを見て、「これは」と思ったので一生懸命真似をしたことが後々自分のタイムを縮めることにつながりました。

アスリートというのは、本当に神経質で人の長所、短所というのをいかに取り入れるか、コーチのアドバイスをいかに理解するかという理解度によっても伸びる。そういうことが上達に深く関係していると思うんです。現在のオリンピックでも、残っている選手にはそういった人が、ほとんどです。私は今でもやはり「あの選択は間違いなかった」と確信しています。

オリンピックで負けてしまったのですが、十一月開催ということでメルボルンは夏、日本ではオフシーズン大会になるわけですよ。当時室内プールはほとんど無く、練習も思うようにならないまま臨みました。レースまで不安で不安で仕方が無かったわけですよ。コンディションを整えるために体力配分を考え、自分の力の配分を、後半に重点を置いたものに変えてやってみよう、と百五十メートルを超えてラストスパートをかけたのですがうまくいかず、これではオリンピックは負けるとその時に思いました。明るる日に決勝を迎えるわけですが、通常の仕上げ方では無理だと弱気になっていました。ウイリアム・ヨーリックは精神的に弱い部分があり、競り合うと負けていたので、最初から競り合って行こうと思いましたが、ぴったりくっついて最初の百メートルを泳いだんです。そして、これは持たないと思うくらい疲れました、本来そのまま維持すればウイリアムはおそらく潰れたのでしようが、私がちょっと遅れをとりましたから、そこで勢いよくバーッと出られたんですよ。あの時私が、練習もコンディションも整理できないまま出場していたこ

とは、間違いないことです。いつも競り合うと負けてしまうような、精神的な弱さを自分で感じていたし、完璧な状態で臨めなかったのは残念です。

古川勝という当時の盟友がいるのですが、彼も「金をとるだろう」と言われ、プレッシャーを感じていたと思うのですが、そういう私と同じ条件下で金メダルをとりました。彼は本当に素晴らしい選手だと思います。

オリンピックのプレッシャーというのは計り知れないものがあり、古川が私の部屋へ来まして、「眠れないがどうしよう。トランプでもするか」と、トランプをしたこともありました。眠れないまま、悶々と横になっていくというのも結構疲れるものですよ。そんな風にもオリンピックというのはプレッシャーのかかるものであります。

高校時代はオリンピックに出るなんて夢にも思ってもいなかった私ですが、実際は代表として出場できることとなり、当時は東京の土佐人会の人が集まって、応援会を開いて下さったりしました。でもそのような人たちの期待に答えられなかったのは生涯の私の悔いとなって残っています。その後、全米大会の招待選手として出場しました。そこでまた、ウイリアム・ヨーリックと泳いだのですが、その時は練習も十分で勝つ自信もあり、百メートル・二百メートルともに勝ったのですが、他の大会では勝ってなかったということで、リベンジにはならないんですよ。今でも国民の皆さんの期待に答えられなかったという悔いが残っています。人生七十七歳になっても、その悔いが残っていて、今も時々オリンピックのことを夢に見て夜中に目が覚めることがあります。それほど、オリンピックというのは、私の生涯において大きな出来事になっています。

本日は偶然にもロンドンオリンピックの開幕の日ということで、大変縁を感じてい

ます。この齢になると「オリンピック」のことで声もかかりませんが、今でもオリンピックという言葉聞くだけで結構興奮しますよ。

私、アメリカの世界水泳の殿堂入りという賞があり、三回要請されたのですが、やはり取るべきメダルを取れなかったという悔が残っており、その悔を抱いたまま殿堂入りする気にはどうしてもなれないと思います、本当に丁重にお断りをしました。そうしたところ、家族をはじめ水泳連盟など周囲からたいへんな批判を受けましたが、当時は、殿堂には最高の人間が入らなければならぬ。という思いがありお断りしたものの、今となっては「それでよかったかな」という迷いもあります。

人間というのは、人それぞれの出会いがありますけども、選手生活をやめてから、パシフィックホテルというところでスイミングスクールをするという話を頂き、一回の小さなPRで千五百人を超える希望者が集まり、大盛況だったんです。そういうわけで、大成功し、ホテルにも喜んでもらいました。同じ経営でボーリング場が併設されていたのですが、教える時間というのは、子供の学校が終わってからということになりますので、午前・午後の時間帯はそのボーリング場に通ったわけです。そこで桑田佳祐という少年と仲良くなり、一緒にプレイしたり、ダブルスで地区のボーリング大会に出たりということもありました。彼とは、彼が高校を卒業するまで一緒にボーリングを楽しんでいたわけですが、彼が青山学院大学に進学して後は、プールにも来なくなっていたのです。その期間が五年ほどあるのですが、ある日彼をテレビで見たとときには本当に驚いたことでした。あの子がテレビで歌っている、有名な歌手になっている、と。人間、どこに才能が眠っているか、本当に分らないものだなと思ったことでした。人間の才能というのは分からないものですが、誰もがダイヤモンドの原石

というのを持っており、ただそれを自分が磨くか、他人が磨くかは分からないけれど、誰にでもチャンスはあるのだと思います。

また、スイミングスクールを部下に任せ通うほど、ゴルフに夢中になっていたり、とがあるのですが、ある少年が父親と来て、「石本さん毎日来ているから、息子と一緒に回ってくれないか。息子はプロになりたいと言っているのだ。」と父親に頼まれたことがあります。当時のコースは難しかったため二年半ほど一緒に回ったのですが全然下手だったため、その時は、「プロになんて絶対なれない、親ばかも良いとこだ」と思っていたのですが、人間というのはバカにしちゃいけませんね。その後、その子は大学に行き、私のそばから離れたのですが、ある日新聞に彼が出ていました。それを見て、まさかと思う反面、本当にどこに才能があるか分からないと思っただけでした。彼は伊沢利光というのですが、日本オープンを取った男なんです。日本一まで上り詰めた、そういう選手もいるわけなんです。ね。人間の潜在能力は計り知れないと思っただけでした。

私自身、生活習慣病にかかり、一時石本はもう駄目だと言われたんです。先はないだろう、と。死んだという噂まで流れるほどで、体力も消耗し、駅の階段も手すりを持って一段ずつしか下りられなくなり、みんなが通りすぎてから、下りるといふ非常に惨めな思いをしたこともありましたが、これじゃ駄目だ、もう一回挑戦しよう、と、六十三歳の時に再び水泳を始めました。現在は毎日五十分で三千メートルを目標に泳ぐようにし、いつからか体力もついてきて、気づけばスポーツクラブの階段もトントンと下りられるようになっていました。それ以後泳がないと不安で、毎日泳ぐようになってたんですよ。ですから、人間何歳になってもチャレンジするということがものすごく大事なことに思っています。例えば何か目標を決めて、「朝歩こうか」

「夕方歩こうか」と考えながら習慣的に歩く、というのでも立派なチャレンジです。私は、「スポーツクラブのプールで七十七歳なのに一時も泳いでいる」と話題にされることがあるようです。それをお風呂で「石本さん、今日もあなたの話を聞いてましたよ」と聞かされました。やはり、そういう風に噂をされるくらい頑張れるということも、自分の精神力によるものが大きいと思います。

高齢の方もいらっしゃいますが、あれも、これもできなくなった、と考えるのではなく、「やってみよう」という気持ちを持ち続けることが大切で、「いや、負けるものか。もう一度やってみよう。」という気持ちをお持ちになることがとても大事なことじゃないかと思えます。

「膝が痛い、腰が痛い」とただ認めるのではなく、チャレンジをするという気持ちでどうぞお持ちになってください。経験者としてあえて言わせていただくと、七百メートルしか泳げなかったものが、だんだん泳げるようになり、三千メートルも休まず泳げるようになりました。今は五十分かけて三千メートル泳いでいます。この年齢で三千メートル泳ぐというのは、やはり達成感・満足感を得られるのですよ。たとえ今病気に罹っているという方もいらっしゃるかもしれませんが、それを前向きにお考えになってください。年齢に関わらず、気持ちをいつも若く持ち、何かにチャレンジしてください。

私は七十七歳ですが、精神的には七十七歳になりきれないものがあるんですよ。それでいいと思うんですよ。どうぞみなさん、何かにチャレンジして、精神的にも肉体的にも若さを維持することは自分の意思でできることです。消化試合ではなく、消化人生を送らうではありませんか。がんばりましょう。今日は長い間ありがとうございました。

懇親会



安芸高校歌を合唱



高女校歌を合唱



旧中校歌を合唱

各支部との交流

◆同窓会本部総会

平成二十四年七月二十八日(土)
会場 ホテルタマイ (安芸市)

◆近畿支部同窓会総会

平成二十四年七月一日(日)
会場 大成閣(大阪市中央区東心斎橋)

◆東京同窓会総会

平成二十四年七月六日(金)
会場 ファーストスクエア宴
(東京都千代田区大手町)

◆東海支部同窓会総会

平成二十五年二月十日(日)
会場 アイリス愛知
(名古屋市中区丸の内)

本年度も本部、各支部同窓会総会をとおして、たくさんの方の同窓の皆様の交流が行われました。

どの支部も総会後の懇親会では、旧制安芸中学、安芸高等学校、安芸高等学校をそれぞれが合唱し、旧交を温めました。全国各地で社会に貢献される同窓の皆様のおかげで、今後益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

来年度は、隔年で行われる高知支部の同窓会総会も加わり、全国五カ所での同

窓の集いが予定をされており、たくさんの方のご参加を期待しております。

【近畿支部】



全体写真



安芸高校歌を合唱



平成24年度 同窓会 近畿支部総会

高女校歌を合唱



支部総会

【東京支部】



全体写真



高女校歌を合唱



旧中校歌を合唱



安芸高校歌を合唱

平成24年度 各支部代表

東京同窓会長	柏戸正英	高普2(S26)	〒260-0854	千葉県千葉市中央区長洲2-21-16
近畿支部長	水上忠義	高普2(S26)	〒638-0811	奈良県吉野郡大淀町大字土田507-320
東海支部長	竹内直彦	高普9(S33)	〒507-0826	岐阜県多治見市脇之島町6-67-14
高知支部長	半田久米夫	高普7(S31)	〒780-0034	高知市三園町84

平成二十四年度 安芸市民賞受賞

地域に貢献する同窓生の活躍

安芸市の市政・産業・教育文化・公共福祉などで功績の顕著な人物や、市民の模範となる行為があった人物を表彰する平成二十四年度「安芸市民賞」に本校同窓生二名が選ばれました。

昨年度の同市民賞三部門(全員受賞)に続き、本年度も三部門中二名の受賞と、毎年のように名を連ねる同窓生の活躍に、創立百十三年を数え、地域を支える安芸中高等学校の歴史と伝統の底力を感じずにはいられません。

受賞されました同窓のお二人に心からお祝いを申し上げます。

(左記写真、功績紹介は安芸市総務課による)

教育文化・社会福祉



長澤正宏氏

昭和28年3月卒4期生

安芸保護区保護司会長を歴任するなど、更生保護制度の改革や保護司会の機能強化に指導力を発揮し、健全な地域社会の推進に貢献をした。

また、教員時代に培った教育力や指導力を活かし教育委員長に就任、落ち着いて学習できる環境整備と開かれた学校づくりに尽力。民生委員・児童委員として独居老人の見回りや生活困窮者に対する支援など、社会福祉の向上にも寄与している。



山崎隆弘氏

昭和31年3月卒7期生

教育文化・社会福祉

安芸老人問題研究会理事長として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための調査・研究や託老所「わすれな草」の運営など、地域福祉の推進に貢献をした。

また、教員時代に培った実績と指導力を活かし、開かれた学校づくり委員を務めるなど教育文化の振興に尽力。民生委員・児童委員や地区委員、障害者支援施設で絵画指導を務めるなど幅広い分野で活躍している。

平成24年度 同窓会 役員名簿

常任理事	役職	氏名	卒業年	常任理事	役職	氏名	卒業年	常任理事	役職	氏名	卒業年	
1	○	顧問	西村 俊彦	旧中 37 (s.16)	30	理事(高校)	小原 章	高普 10 (s.34)	59	理事(高校)	佐藤 章	高普 24 (s.48)
2	○		寺尾 好男	旧中 38 (s.17)	31		足達 雅彦	高普 11 (s.35)	60		前田 信幸	高普 26 (s.50)
3	○		西岡 良子	旧女 11 (s. 8)	32		井上 勝二	高普 12 (s.36)	61		島津 和弘	高普 27 (s.51)
4	○		西澤 邦輔	旧中 42 (s.20)	33		長野 和賀	高普 12 (s.36)	62		畠中 龍雄	高普 28 (s.52)
5	○	会長	山崎 勲	高普 1 (s.25)	34		小松 節	高被 5 (s.36)	63		門田 禎子	高普 28 (s.52)
6	○	副会長	岩崎 桂子	高普 5 (s.29)	35		浜川 和彦	高普 13 (s.37)	64		小松 俊幸	高普 29 (s.53)
7	○		長澤 千加	高普 7 (s.31)	36		手島 敬子	高普 13 (s.37)	65		松本 健	高普 29 (s.53)
8	○		曾我 章	高商 10 (s.41)	37	○	谷口 美洋	高普 14 (s.38)	66		横田 毅	高普 30 (s.54)
9	○		門脇 茂利	高普 24 (s.48)	38		白川 昌弘	高普 15 (s.39)	67		畑中 英子	高普 30 (s.54)
10	○		小松 靖一	高定 21 (s.55)	39		曾我 幹雄	高普 15 (s.39)	68		中井 秀次	高普 30 (s.54)
11	○	監事	織田庄之佑	高普 6 (s.30)	40		広松紘三郎	高普 15 (s.39)	69		井上 一仁	高普 31 (s.55)
12	○		松岡 瑞	高普 14 (s.38)	41		小松 精一	高普 16 (s.40)	70		安養寺 仁	高普 31 (s.55)
13	○	理事(旧中)	春田 誠郎	旧中 38 (s.17)	42		福留史満子	高普 16 (s.40)	71		坂本 道昭	高普 31 (s.55)
14			福留禮二郎	旧中 40 (s.19)	43	○	小松 孝	高普 17 (s.41)	72		小松 一	高商 24 (s.55)
15			小路 博幸	旧中 42 (s.20)	44		西岡 真喜	高普 17 (s.41)	73		藤田 剛志	高商 24 (s.55)
16			西村 智	旧中 43 (s.21)	45		小原 重松	高普 18 (s.42)	74		柴原 享一	高普 32 (s.56)
17		理事(旧女)	佐藤 満子	旧女 23 (s.20)	46		有沢精一郎	高商 11 (s.42)	75		中島登喜雄	高普 32 (s.56)
18			北村霞代子	旧女 24 (s.22)	47		小原 彰義	高普 19 (s.43)	76		小原 昌信	高商 26 (s.57)
19		理事(高校)	有澤 駒雄	高普 2 (s.26)	48		浜川 洋	高普 19 (s.43)	77		正木 敏政	高普 33 (s.57)
20			仙頭 一良	高普 2 (s.26)	49		東 博幸	高普 19 (s.43)	78		中山 良幸	高商 26 (s.57)
21	○		植田 康夫	高普 3 (s.27)	50		佐々木 愛	高定 9 (s.43)	79		岡村 明彦	高普 33 (s.57)
22			高橋 保雄	高普 4 (s.28)	51	○	西岡 良介	高定 10 (s.44)	80		川口多喜美	高普 33 (s.57)
23	○		仙頭 一彦	高普 6 (s.30)	52	○	森尾 傳	高普 20 (s.44)	81		清岡 直樹	高普 35 (s.59)
24	○		井上 正道	高普 7 (s.31)	53		須賀 和男	高普 20 (s.44)	82		大坪 浩久	高普 38 (s.62)
25			山崎 恒夫	高普 7 (s.31)	54		大井 範男	高普 20 (s.44)	83		西岡 智子	高普 39 (s.63)
26			五百蔵 溜	高普 8 (s.32)	55		石建 守	高普 21 (s.45)	84		清本 祥一	高普 39 (s.63)
27			胎中 克彦	高商 2 (s.33)	56		富田 毅	高普 22 (s.46)	85		山崎 美和	高普 41 (h. 2)
28			吉良 義宏	高普 9 (s.33)	57		西内 範彦	高商 16 (s.47)	86		岡村 佳子	高普 43 (h. 4)
29			藤島 善之	高普 10 (s.34)	58		佐々木範明	高普 24 (s.48)	87		高橋まどか	高普 46 (h. 7)

高知県立安芸高等学校過去3年間の合格状況

平成21年度合格者数			平成22年度合格者数			平成23年度合格者数		
国公立大学・大学校 (20)			国公立大学・大学校 (31)			国公立大学・大学校 (26)		
高知大学 5	香川大学 1		高知大学 7	大阪大学 1	九州大学 1	高知大学 5	岡山大学 1	三重大学 1
青森公立大学 1	尾道大学 1		高知県立大学 3	横浜国立大学 1	信州大学 1	高知県立大学 6	山口大学 1	下関市立大学 1
高知女子大学 3	愛媛大学 2		高知工科大学 3	岡山大学 1	愛媛大学 2	高知工科大学 4	九州工業大学 1	
兵庫県立大学 1	岡山県立大学 1		香川大学 3	山口大学 1	岐阜薬科大学 1	埼玉大学 1	鳥取大学 1	
高知工科大学 4			広島大学 3	都留文科大学 1		島根県立大学 1	名古屋大学 1	
鳥取大学 1			名城大学 1	神戸大学 1		横浜国立大学 1	電気通信大学 1	
関東・関東以北地区私立大学 (13)			関東・関東以北地区私立大学 (15)			関東・関東以北地区私立大学 (10)		
日本大学 1	東京電機大学 1	横浜美術大学 1	東京薬科大学 1	日本大学 2	東京理科大学 2	東京理科大学 2	日本橋学館大学 1	
千葉工業大学 2	立正大学 1	武蔵美術大学 1	帝京科学大学 1	千葉工業大学 1	東京電機大学 1	高千穂大学 1	共立女子大学 1	
工学院大学 1	流通経済大学 1	大東文化大学 1	実践女子大学 1	東海大学 1	ウエスリアン大学 1	流通経済大学 2	東京経済大学 1	
神奈川工科大学 2	専修大学 1		駒沢女子大学 1	専修大学 2	東京女子体育大学 1	東京電機大学 1	東京富士大学 1	
中京・甲信越地区私立大学 (2)			中京・甲信越地区私立大学 (1)			中京・甲信越地区私立大学 (1)		
名城大学 2			名古屋女子大学 1			静岡産業大学 1		
関西地区私立大学 (38)			関西地区私立大学 (36)			関西地区私立大学 (32)		
大谷大学 1	大阪体育大学 1		関西大学 4	成美大学 1		関西大学 2	大谷大学 3	
京都産業大学 13	ブール学院大学 1		神戸女子大学 5	甲南大学 1		大阪工業大学 2	佛教大学 2	
京都橘大学 4	関西福祉大学 1		花園大学 1	神戸学院大学 1		同志社女子大学 1	神戸学院大学 1	
関西大学 6	神戸学院大学 1		京都橘大学 2	京都産業大学 5		京都学園大学 1	大阪経済大学 2	
大阪国際大学 1	佛教大学 2		立命館大学 5	関西学院大学 1		京都外国語大学 5	大阪薬科大学 1	
姫路獨協大学 2	追手門大学 1		大阪商業大学 1	龍谷大学 1		龍谷大学 1	帝塚山学院大学 1	
大阪商業大学 1			同志社大学 3	武庫川女子大学 1		近畿大学 2	奈良大学 2	
大阪経済大学 2			近畿大学 1	京都女子大学 1		大阪産業大学 1	追手門学院大学 3	
京都造形芸術大学 1			京都学園大学 1	大阪経済大学 1		神戸女子大学 1	森ノ宮医療大学 1	
中国・四国地区私立大学 (48)			中国・四国地区私立大学 (45)			中国・四国地区私立大学 (46)		
松山大学 8	美作大学 3	岡山理科大学 3	松山大学 6	広島国際大学 3	福山大学 1	岡山理科大学 5	就実大学 2	四国学院大学 5
四国学院大学 2	広島国際大学 3	広島国際大学 3	四国大学 2	就実大学 2	広島工業大学 1	広島国際大学 2	吉備国際大学 1	美作大学 3
四国大学 5	吉備国際大学 4	吉備国際大学 4	徳島文理大学 13	吉備国際大学 6	広島女学院大学 2	安田女子大学 1	四国大学 2	福山大学 1
徳島文理大学 6	倉敷芸術科学大学 4		四国学院大学 1	川崎医療福祉大学 3	美作大学 1	徳島文理大学 8	川崎医療福祉大学 4	倉敷芸術大学 1
川崎医療福祉大学 2	環太平洋大学 1		岡山理科大学 3	安田女子大学 1		松山大学 10	山陽学園大学 1	
九州地区私立大学 (0)			九州地区私立大学 (3)			九州地区私立大学 (1)		
			南九州大学 3			九州産業大学 1		
短期大学・短期大学校 (11)			短期大学・短期大学校 (21)			短期大学・短期大学校 (23)		
高知短期大学 1			高知学園短期大学 14	美作短期大学 1		高知学園短期大学 14	四国短期大学 1	
高知学園短期大学 7			川崎医療福祉短期大学 1	常磐会短期大学 1		川崎医療福祉短期大学 1	徳島文理短期大学 1	
三重短期大学 2			四国大学短期大学 1	高知短期大学 2		神戸女子短期大学 2	高知短期大学 3	
徳島文理短期大学 1			亜細亜短期大学 1			関西女子短期大学 1		
各種・専門学校 (25)			各種・専門学校 (24)			各種・専門学校 (23)		
高知公務員学院 3	大阪芸術 2	大原簿記 1	四国医療工学 6	土佐リハビリテーションカレッジ 3		大原デザインアート 1	小瀬野ファッションビューティ 1	高知リハビリテーション 1
土佐リハビリテーションカレッジ 6	鶴岡国際ビューティカレッジ 2		ポリテクカレッジ高知 1	関西理美容 1		高知医療学院 2	大阪ビジュアルアーツ 2	関西美容 1
ちば愛犬動物学園 1	東京アナウンス学院 1		穴吹ビューティカレッジ 1	幡多看護 1		四国医療工学 1	東京美容 1	東京ビジュアルアーツ 1
文化服装学院 1	東徳島病院附属看護 1		高知公務員学院 3	インタナショナル歯科衛生 1		土佐リハビリテーションカレッジ 1	龍馬ふくし 1	ヴェールルージュ美容 1
キャットミュージックカレッジ 1	ポリテクカレッジ高知 1		穴吹医療 1	高知福祉 2		四国医療 1	大阪ビューティアート 1	大原学園 1
高知情報ビジネス 2	日本工学院 1		高知医療学院 1	東京スイーツ&カフェ 1		神戸医療福祉 1	東京デザイナー学院 1	公務員学院 1
神戸ベルエール美容 1	バンタン美容 1		大阪文化服装学院 1	神戸総合医療 1		高知情報ビジネス 1	国際ビューティカレッジ 1	順正高等看護 1
公務員 (2)			公務員 (2)			公務員 (5)		
国家公務員三種 1			自衛隊 2			自衛隊 3	香南市消防 1	
大阪府警 1						安芸市消防 1		
就職 (7)			就職 (10)			就職 (5)		
【県内】	【県外】		【県内】	【県外】		【県内】	【県外】	
東部森林組合 1	郵便局株式会社 1		日本高度紙工業 1	郵便局株式会社 1		有限会社木下建設 1	株式会社東洋製作所 1	
土佐くろしお鉄道株式会社 1	郵便局事業株式会社 1		JA土佐香美 1	適寿リハビリテーション病院 1		JAとさあき農業協同組合 1	株式会社矢尾卯 1	
愛宕病院 2			夢の里 1				株式会社岡住 1	
セントラルコンピュータテクノロジー 1			土佐ロイヤルホテル 1					
			(株)慶尚 1					
			トーリ 1					
			アーク歯科 1					
			尾木歯科 1					